

今年も開催！

プログラミングフェスティバル

主催：Programming Festival 2020 実行委員会
後援：大阪府教育委員会／未来の学びコンソーシアム

Programming Festival 2020

プログラミングで教育現場の課題を解決しよう！

参加無料

小中高生なら
誰でも参加できます

使用ソフト：Scratch 3.0

入賞作品の作者は
授賞式へご招待！



教科部門

英語

社会課題解決部門

SDGs

新設

特別賞

詳しくは裏面

上位3名
フェスト大賞、アイデア賞、デザイン賞

応募期間：2020年7月1日(水)～10月15日(木)
オフィシャルサイトの専用応募フォームからご応募ください。
<https://programmingfestival.jp/>



Programming Festival 2020 応募要項

主催：Programming Festival 2020 実行委員会

後援：大阪府教育委員会／未来の学びコンソーシアム

Programming Festival はプログラミング技術を競う大会ではありません。プログラミングを通して、教育現場の課題を子どもたちと先生と一緒に解決していく大会です。大会を通して、子どもたちはプログラミングへの勉強意欲を刺激され、プログラミング学びの目標を立てることができます。また学校で習った知識をゲームやアニメーションをつくることによってより理解を深め、主体的に深い学びにつながります。さらに、すべての作品は、全国の先生が自由に使えることによって、学ぶ側（生徒）の視点と発想から先生の授業作りの改善に役に立ちます。子どもたちと先生の教え合う、学び合う新しい空間を創ることがわれわれの願いです。

新設

社会課題解決部門

SDGs

教科部門

英語

Programming Festival 開催当初から設定してきた課題指定は、今年度「英語」に取り組んでいただきます。楽しく勉強できる未発表のオリジナルのアニメーション、ゲームを創ってください。教科書にある内容なら、現在の学年以外の内容を選んで作ってもかまいません。

今年度より、探究学習プログラム「サス学」（サステナブル学）の小中高生への普及に取り組む協賛企業から特別賞が贈られる、社会課題解決部門を新設します。SDGsの掲げる17の目標のうち1つ（複数でも可）を選び、具体的な課題とその解決案となるプログラムを創作して下さい。

（例）目標 12: つくる責任つかう責任 課題：食品ロス問題、
目標 14: 海の豊かさを守ろう 課題：マイクロプラスチック問題など

評価基準：課題解決のアイデア、作品の完成度

優れた作品は協賛企業から「SDGs 特別賞」を贈られます。

* SDGs についてはユニセフ等の案内サイトを参照して下さい。

評価基準：アイデア・面白さ・シンプルさ・使いやすさ

一次審査は大会委員が全応募作品から約 20 作品を選出します。最終審査は小中学校の先生により 10 作品が入賞作品に選ばれます。入賞作品の作者を授賞式へ招待。さらに当日発表で上位 3 名がフェスト大賞、アイデア賞、デザイン賞を贈られます。

応募資格：小中高生なら誰も参加できます

参加費：無料 使用ソフト：Scratch 3.0

※作品の著作権、失格に関する注意事項を必ずオフィシャルサイトでご確認下さい。

応募方法：Scratch3.0 で作品を作成してください。

今年度からプレゼン動画が必須となります。作品ファイルは 5MB 以下、動画は 1 分以上 2 分以内の MP4 または MOV 形式で作成してください。プレゼン動画で作品を実演し、制作内容を選んだ理由、作品の特徴などをアピールしてください。応募専用サイトからご応募ください。

応募期間

2020 年

7月1日(水)～10月15日(木) <https://programmingfestival.jp/>

オフィシャルサイトの専用応募フォームからご応募ください。



サス学

SUS-GAK

「サス学」は三井物産株式会社の登録商標です。



子どもたちの「なぜ?」「どうして?」が未来を変える



VISION

サステナブル(持続可能)な未来を創る



MISSION

子どもたちの「未来につながる社会をつくりだす力」を育てる

【社会課題解決部門・協賛企業】

株式会社ジェイシー教育研究所
〒260-0027
千葉県千葉市中央区新田町 10-15
TEL: 043-241-5501



「サス学」とは?

「サス学」は、未来の子どもたちと持続可能な社会を創る、アクティブラーニング型の探究学習プログラムです。サス学クラウドサービス S G X を用いて塾等の教育現場にご導入可能です。